

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和2年度農作物病害虫発生予察情報について

令和2年度農作物病害虫発生予報第7号を発表したので送付します。

令和2年度農作物病害虫発生予報第7号

令和2年8月13日
徳島県

I. 果樹
カンキツ

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年並～やや少なく(前年よりやや少ない), 発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第3半旬の温州みかん巡回調査では, 枯枝から黒点病菌の発生が確認された圃場率は25.0%で, 枯枝中の α 型孢子数は $10\sim 35\times 10^4$ 個/gであった(前年同時期は圃場率50.0%, α 型孢子数 $0.78\sim 6.25\times 10^4$ 個/g)。
- (2) 高松地方気象台が8月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年並か少なく, 日照時間は多く, 期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており, 発生には中間的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 枯れ枝を極力除去する。せん除した枝は園外へ持ち出して処分し, 病原菌密度の低下に努める。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年より多い)で, 発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第3半旬の巡回調査では, 発生圃場率が75.0%と, 平年(55.5%)に比べてやや高いが, 寄生葉率は4.5%と, 平年(9.9%)に比べてやや低い。
- (2) 高松地方気象台が8月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年並か少なく, 日照時間は多く, 期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており, 発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には, 十分な量の薬液を散布する。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

ナシ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年より少なく(前年より少ない), 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 8月第3半旬の巡回調査では、発生圃場率が12.5%、発病度が0.0と、平年(49.3%、0.9)に比べて低い。
- (2) 高松地方気象台が8月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、やや発生抑制的な気象条件である。
- 3) 防除上注意すべき事項
- (1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後に防除を行う。

ハダニ類

- 1) 予報内容
発生量 平年より多く(前年より多い)、発生程度は「中～多」
- 2) 予報の根拠
- (1) 8月第3半旬の巡回調査では、発生圃場率が100%、寄生葉率が25.8%と、平年(59.3%、9.1%)に比べて高い。
- (2) 高松地方気象台が8月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、発生助長的な気象条件である。
- 3) 防除上注意すべき事項
- (1) 発生の多い園では収穫後に防除を行う。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類(主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)

- 1) 予報内容
発生量 平年よりやや少なく(前年より少ない)、発生程度は「少」
- 2) 予報の根拠
- (1) 勝浦町での予察灯調査では、7月第3半旬～8月第2半旬におけるツヤアオカメムシおよびチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年に比べて少なく推移している。一方、上板町での予察灯調査では、ツヤアオカメムシは、7月第3半旬～8月第1半旬において、平年に比べてやや少なく推移したが、8月第2半旬に平年並の誘殺数となった。また、チャバネアオカメムシは、7月第3半旬～8月第2半旬において、平年並に推移している(表1)。

表1 予察灯への果樹カメムシ類の誘殺数

ツヤアオカメムシの誘殺数

月.半旬	勝浦町					上板町				
	2020年	2019年	2018年	2017年	平年	2020年	2019年	2018年	2017年	平年
7.3	10	76	129	3	64	5	5	11	26	13
7.4	9	83	159	4	68	0	1	4	22	9
7.5	14	123	161	4	69	2	4	2	29	7
7.6	19	92	302	47	119	2	4	47	44	13
8.1	6	79	293	32	193	1	4	48	9	9
8.2	8	57	346	66	194	14	1	57	15	11

チャバネアオカメムシの誘殺数

月.半旬	勝浦町					上板町				
	2020年	2019年	2018年	2017年	平年	2020年	2019年	2018年	2017年	平年
7.3	31	54	6	26	45	26	7	13	23	52
7.4	21	86	18	19	53	20	19	10	19	67
7.5	12	71	34	26	53	18	13	12	34	82
7.6	41	31	106	74	89	37	18	49	97	49
8.1	12	86	109	81	94	27	4	22	19	22
8.2	33	116	277	169	124	36	4	23	20	16

- (2) 高松地方気象台が8月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は多く、期間の前半は気温がかなり高くなると予測されており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。
- (3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

II. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにする。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないように注意する。

発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所
URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/>

- 病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。

